

令和4年度までの福島イノベーション・コースト構想の取組

あらゆるチャレンジが可能な地域

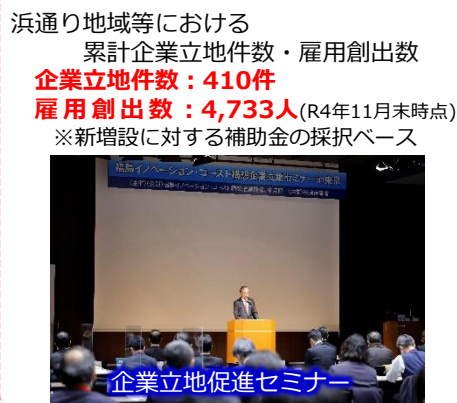
様々な分野におけるイノベーションにつながる新たなチャレンジを実施できる地域となることを目指す

地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込み



先端ロボットによる実証試験
○福島浜通りロボット実証区域
 ロボットの研究開発を積極的に支援するため、県内の橋梁やダム、河川、山野などを実証試験や操縦訓練の場として提供。
試験誘致件数：1,027件
 (H30年7月からR5年2月末まで)

○浜通り地域等への企業誘致
 優れた立地環境や各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアー、個別現地案内等実施し、浜通り地域等への企業誘致を促進。
 浜通り地域等における
 累計企業立地件数・雇用創出数
企業立地件数：410件
雇用創出数：4,733人(R4年11月末時点)
 ※新增設に対する補助金の採択ベース



企業立地促進セミナー



実用化開発事例
○地域復興実用化開発等促進事業
 地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進。
延べ457件の事業を採択
 (平成28年度から令和4年度まで)
 ・H28：46件
 ・H29：68件(うち新規採択33件)
 ・H30：83件(うち新規採択35件)
 ・R1：61件(うち新規採択31件)
 ・R2：69件(うち新規採択29件)
 ・R3：70件(うち新規採択38件)
 ・R4：60件(うち新規採択20件)

○イノベーション創出プラットフォーム事業 Fukushima Tech Create
 …起業・創業ステージに応じた3つのプログラムにより、イノベ地域において事業化に至るまでの様々な支援を実施。



Fukushima Tech Create2023成果報告会

支援実績
 ・**ビジネスアイデア事業化プログラム**…採択20件
 ・**地域未来実現プログラム**…採択7件
 ・**アクセラレーションプログラム**…採択7件

交流人口・関係人口の拡大 情報発信

○東日本大震災・原子力災害伝承館
 複合災害の記録と教訓を収集・保存するとともに、調査・研究し、展示・研修を行う情報発信拠点として、令和2年9月に双葉町に開館。
令和5年1月 来館者数17万人達成



展示コーナー

○福島イノベ構想シンポジウム
 構想の進捗状況等について、幅広い層への認知を促進させるとともに構想の理解を深化させることを目的としたシンポジウムを開催。
 12月10日 富岡町「学びの森」大ホール
来場者数:210名(オンライン視聴:95名)



イノベ構想シンポジウム

○地域住民向け「見える化セミナー」
 構想を身近に感じるためのセミナーを開催。
 ・10/27 見える化セミナー in みなみそうま **来場者:34名(オンライン視聴:40名)**
 ・12/25 見える化セミナー in ふくしま **来場者:116名**
 ・2/25 見える化セミナー in かわまた **来場者:46名(オンライン視聴:24名)**

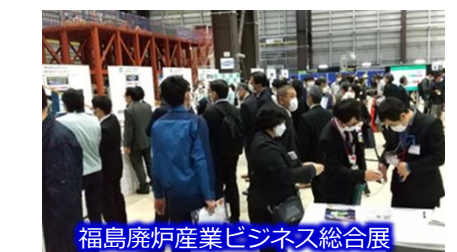


見える化セミナー in みなみそうま

地域の企業が主役

最先端分野だけでなく、地域に根ざした産業を含め地元企業が幅広く構想に参画できるよう、地元企業と進出企業の連携を広域的に進める

地元企業の参画拡大、県内他地域との連携強化



福島廃炉産業ビジネス総合展

○廃炉関連産業マッチングサポート事務局
 元請企業と県内企業のマッチング支援。
令和4年度成約実績：376件(2月末時点)
 ・交流会開催(9/13,11/8,1/26)
 第1回 元請 8社、県内企業 20社 参加
 第2回 元請 9社、県内企業 18社 参加
 第3回 元請 5社、県内企業 24社 参加
 ・廃炉スタディーツアー開催(6/22,10/23)
 第1回 9社(9名)参加
 第2回 9社(9名)参加
 ・福島廃炉産業ビジネス総合展(11/8)
17ブース 20社 出展、来場者 376名



福島イノベ倶楽部交流会

○福島イノベ倶楽部
 異業種間の連携、地域間の連携、地元企業と進出企業との連携による新事業の創出や取引拡大を目指す異業種交流の場。
会員数：145企業・団体(正会員113、賛助会員32)
 ・理事会・総会(6/8 linkる大熊)
 ・視察会・交流会(11/15 稲葉遠隔技術開発センター)
 ・研修会・交流会(2/5 いわきワシントンホテル)

○福島イノベ企業合同プレス発表会の開催

浜通り地域等に進出した企業や新しい取組を行っている地元企業等の活動を支援するため、取組内容や成果を広く発信する合同プレス発表会の開催。
 第1回(5/11) 発表企業4社(実用化開発達成、特許申請・取得)
 第2回(9/6) 発表企業4社(本県で新たな挑戦を始める企業)
 第3回(12/22) 発表企業4社(実証実験開始、事業・実用化達成)



合同プレス発表会

構想を支える人材育成

将来にわたって自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材の育成と産業集積を支える人材を育成する

小中学校、高校におけるキャリア教育の推進



○小中学校
 構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、双葉郡8町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援。
第9回双葉郡ふるさと創造学サミット(12月3日開催)
約820名参加(児童生徒538名、教職員・関係者199名、配信視聴約85名)

○高等学校
福島イノベ構想の実現に貢献する人材育成成果報告会
 構想に関する教育プログラムの成果報告会を1月に開催。
県内高校22校、90名参加
 高校生によるジャム製造販売 県内の農業高校6校が連携して商品企画・製造を行った「ジャムプロジェクト」による**ジャムの販売会を開催**。

○ふくしまイノベ未来講座

福島を未来を牽引する若者に対し、構想の周知に留まらず、先進的な技術等の学ぶ機会を提供するため、イノベ構想に関わる有識者を招聘する出前講座の実施。
開催実績:10件(浜通り7件、中通り2件、会津1件)



出前講座の様子

テクノアカデミーにおけるイノベ人材育成



学生による**軽量飛行機を製作し、実際に飛行させる「REAL SKYプロジェクト」**を実施。

大学等による教育研究活動(復興知事業)



【ロボット・ICT人材育成】
会津大学×南相馬市
 イノベ地域での人材育成基盤の構築を目指し、大学等の教育研究活動を支援。
17大学等21プロジェクトを採択

福島国際研究教育機構

R5.4設立に向けた動き
 ○福島特措法の改正を受け、新産業創出等研究開発基本計画を策定(内閣総理大臣決定)
 ○立地場所を浪江町に決定(復興推進会議決定)
 ○今後の研究開発に繋がる先行的な研究開発に着手(計14事業)



機構が取り組む研究開発5分野

放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

課税の特例

課税の特例(イノベ税制)
活用事例:東北エンタープライズ
 イノベ構想の重点分野の取組を推進するため、新産業創出等推進事業を行う事業者を対象として固定資産税の課税免除等により支援。
令和4年度認定実績：1件
 ・廃炉分野に係る取組(いわき市)